

一筆啓上仕候、先以暖和之
砌御座候処御家内様御揃
御壮健ニ被成御座目出度
御儀ニ奉存候、次ニ拙家無異ニ
消日仕候間乍憚御放□
可被遣候、然_者先頃_者寛々
得貴顔大慶不少奉存候、扨
其節御談に被成候愚息
虎之助儀当月中ニも引取
申度由、弥以左様ニも被成
度思召も御座候ハ、私方ニも
少々心組も御座候間御貴君様
御含を以御内々御尋問
可被遣候様奉願上候、何れ
深田大人御差図も可有御座
候間宜敷御取計可被遣候、尚以
乍御苦勞御貴君様仲人ニ
御立可被遣候様奉願上候、右之段
得貴意度以愚札如此ニ御座候
余_者期拝顔之時候、恐惶謹言

新屋

吉右衛門

四月十日

大谷九右衛門様

追_而申上候、今日愚妻儀末次
罷越三四日も逗留仕積ニ御座候
間此内御懸合被為遣候_而
巨細貴答為御知可被遣候様
奉願上候、右□□候、以上